

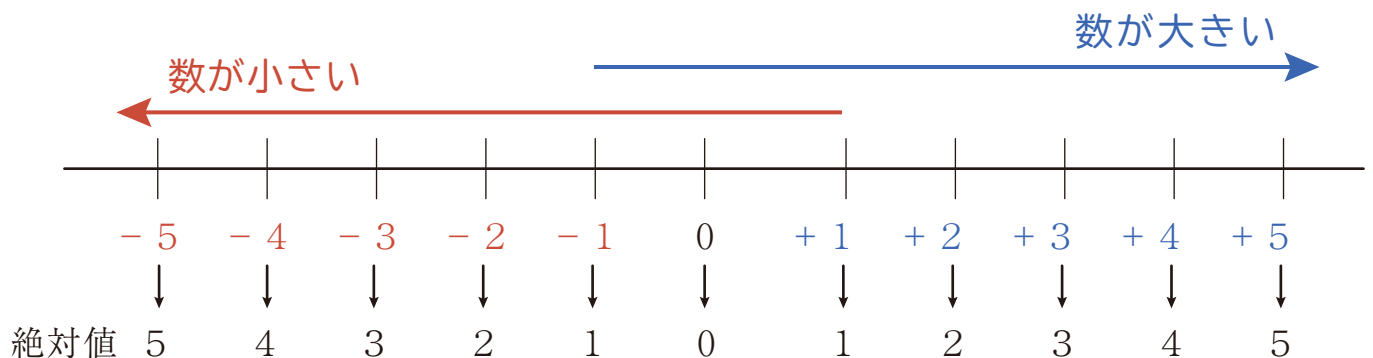
数の大小

正の数、負の数の大小は、次のように考える。

- ・正の数は、負の数よりも大きい。
- ・正の数は、絶対値が大きいほど、その数は大きい。
- ・負の数は、絶対値が大きいほど、その数は小さい。

※絶対値とは：数直線上で、原点(0)から、ある点までの距離を絶対値という。

数直線上では、右に行くほど数が大きく、左に行くほど数が小さい。



1 にあてはまる不等号を入れなさい。

① -5 $+1$

② -8 -4

③ -10 -12

④ $+6$ $+9$

⑤ $+10$ -11

⑥ $+10$ -9

⑦ -2 -3

⑧ $+5$ $+9$

⑨ $+3$ -2

⑩ -2 -6

⑪ -8 $+9$

⑫ $+5$ -4

⑬ -10 -6

⑭ $+8$ -11

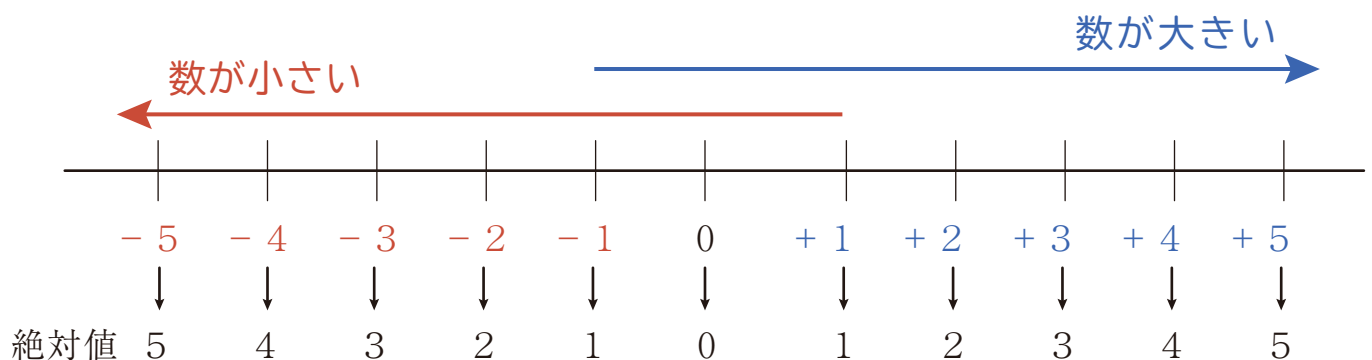
数の大小

正の数、負の数の大小は、次のように考える。

- ・正の数は、負の数よりも大きい。
- ・正の数は、絶対値が大きいほど、その数は大きい。
- ・負の数は、絶対値が大きいほど、その数は小さい。

※絶対値とは：数直線上で、原点(0)から、ある点までの距離を絶対値という。

数直線上では、右に行くほど数が大きく、左に行くほど数が小さい。



1 にあてはまる不等号を入れなさい。

① -5 $+1$

② -8 -4

③ -10 -12

④ $+6$ $+9$

⑤ $+10$ -11

⑥ $+10$ -9

⑦ -2 -3

⑧ $+5$ $+9$

⑨ $+3$ -2

⑩ -2 -6

⑪ -8 $+9$

⑫ $+5$ -4

⑬ -10 -6

⑭ $+8$ -11